



第6回目は、近くに歴史的な用水「二ヶ領用水」が流れ、また静かな住宅地にある下布田小学校を訪問し、千野校長先生にお話を伺いました。元々は水田、梨畑が広がる地域で、徐々に住宅が増え、当校は昭和54年4月に中野島小、東菅小から分離する形で、開校しました。

当校は敷地内に二ヶ領用水が流れ、「せせらぎ観察園」があります。他の小学校にはない宝物です。自然観察を学習の中に取り入れ、子どもたちにもっと関わってもらうため、本来の自然の環境に戻したいという願いを込めて、子どもたちの委員会活動としてせせらぎ委員会が平成23年に誕生し、子どもたちは休み時間に自由に園に入れ、自然とのふれあいを体験しています。平成24年には、全国学校・園庭ピオトーブコンクールで奨励賞を、また川崎市環境功労者表彰を受賞しました。今年度は40周年を記念して、園入口付近には木で作った看板が、園内にはベンチが地域の方々の協力により設置されました。

また、「せせらぎ観察園」の横には田んぼがあり、二ヶ領用水から水を引いて、5年生が田植えから稲刈り、はさがけまでを行い、今年は8kgのお米

を収穫し、おにぎりにして食べたそうです。

創立40周年の記念スローガンとして、「未来へつなごう～せせらぎ・あいさつ・地域とともに～下布田っ子の宝物」を掲げています。地域の協力者による体験学習が20年以上も続いており、子どもたちの成長に結びついています。地域協力者による体験学習は、各学年で実施されており、例えば、3年生は梨作り、5年生は和紙の葉書作り、6年生は八重桜の塩づけ(40周年記念式典で桜茶としてふるまわれるそうです。)などがあります。また、学年ごとに体験学習の成果を発表されるそうです。

下布田小学校は、自然豊かな恵まれた環境の中で、子どもたちがのびのびと楽しく学校生活を送っている学校です。(文:伊藤、小澤)



多摩区の明日に向かって

第6回 市道向ヶ丘遊園駅菅生線の
稲生橋交差点改良工事について

現在、工事が進められています稲生橋交差点改良工事の件で、川崎市北部都市基盤整備事務所に取材を行いました。改良工事の目的は、交差点の渋滞緩和のため、生田緑地から向ヶ丘遊園駅方面に向かう通称「民家園通り」の車道を稲生橋交差点手前で2車線から3車線に広げることでした。3車線の内容は、左側車線は世田谷町田線方面への左折車線、真中の車線は向ヶ丘遊園駅方面への直進車線、右側車線は溝の口駅方面への右折車線となります。このことにより現在の左側車線の左折と直進の双方の機能を分離することで車両の流れをスムーズに行うことができるようになります。渋滞対策としての左折専用車線の設置ということです。また、なぜ交差点が渋滞するようになったかの原因は、鴛鴦(おし)沼部分の道路が拡幅整備

され東名川崎インターチェンジを出た車が、市道向ヶ丘遊園駅菅生線を経由して世田谷町田線に向かう、東名高速道路からの車両の増加が一因として考えられます。なお、改良工事の工期は、平成30年4月2日(月)から平成30年12月28日(金)までとなっています。工事完了後は、交通量調査の結果等を参考にしながら、警察などと協議し信号現示を最適な状態にするなど、より車両の流れがスムーズになるようにしたいとのことでした。(文:村田、児井)



このシリーズでは、現在多摩区内で進行中、または進行予定のプロジェクトを随時取り上げて行く予定です。

今年は柿の当り年だそうですが、近所の露地野菜売り場では渋柿が売っています。我が家は数年前から干し柿作りにハマってます。自宅で作ったものは愛着があるのか、一層美味しく感じます。四季を通じ新鮮な露地野菜が買えるこの地域をとて気に入っています。(矢野)

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp
ホームページ http://tamaku-machikyoo.com/



私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS

2018年
(平成30年)12月

62
号

多摩の風景



多摩川登戸河川敷で
PLAY GREEN PARKが
開催されました!



今年で9回を数えた多摩川キャンドルナイト、さらに今回はPLAY GREEN PARKが11月3日(土・祝)多摩川登戸河川敷にて同時開催されました。

このPLAY GREEN PARKは、20種類を超える昔あそびが親子で体験できる「あそびパーク」、4種類のヨガが体験できる「ヨガパーク」、そしてそれらの風景をプロのカメラマンに無料で撮影してもらえるとという粋な計らいがあり、他にも、地元のおいしいお店による屋台出店、アート作品の展示、ピザの釜焼き体験、音楽ライブなどが催され、およそ2,000人ほどの来場で、会場は終始賑わいを見せていました。

開催に至った背景には、今回の企画者である若山勝さんがカワサキノサキと協力して、川崎市や小田急電鉄、登戸そだて隊などの有力団体と連携して開催されました。短い準備期間でかつ初開催にも関わらず、これほどのイベントが開催できたのは、常日頃から各団体

の意見交換や交流がなされていたからのたまもので、今後もこのようなイベントが随時開催されていくことを思うと、ますます多摩区のまちづくりがおもしろくなっていくのではないかとワクワクします。(記事・写真:加藤)

活動 PLAY GREEN PARKを開催して
(PLAY GREEN PARK 実行委員会の若山勝さん)

手作りの遊具や簡単に手に入るものを使って、子どもたちが家族や初めて会う子どもと一緒に遊び方を見つけて楽しめる「場」を創るのがコンセプトでした。私が近くのフォトグラファーを見つけて撮影依頼できるアプリを社内起業したのも「家族で遊んでいるところを写真に残したい」という想いからで、会場でも多くの方に体験頂けました。

多摩川キャンドルナイト、登戸そだて隊、市役所はじめ、ご協力頂いたみなさんに感謝しています。

